

1) 10 点 2) 15 点 計 25 点

次の問いに答えよ。

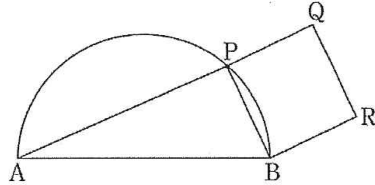
1) 次の 3 つの数を大きい順に並べよ。

$$\left(\frac{1}{2}\right)^{2\log_2 3}, \quad 10^{\log_{\frac{1}{10}} 8}, \quad 4^{-\log_2 \sqrt{3}}$$

2) $a_1 = 3, a_2 = \sqrt{a_1}, a_3 = \sqrt{a_2}, \dots, a_n = \sqrt{a_{n-1}}$ であるとき, $\lim_{n \rightarrow \infty} a_1 a_2 a_3 \dots a_n$ を求めよ。

2) 20 点

平面上に、線分 AB を直径とする半径 1 の半円がある。弧 AB 上の点 P に対して、線分 PB を 1 辺とする正方形 PBRQ を考える。ただし、点 P は A, B と異なる点とし、点 Q は線分 AP の P を超える延長上にとる。点 P が弧 AB 上を動くとき、線分 AR の長さの最大値を求めよ。



3) 15 点

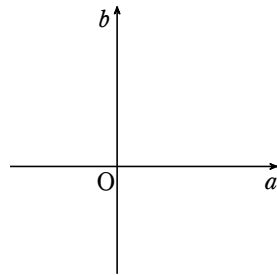
1 から 10 までの番号をつけた 10 枚のカードから、3 枚のカードを同時に引くとき、2 番目に大きい数が $n (2 \leq n \leq 9)$ である確率を n を用いて表せ。

4) 1) 20 点 2) 20 点 計 40 点

円 C は点 (2, 1) を円の内部または周上に含み、かつ領域 $D = \{(x, y) \mid x \geq 0, y \geq 0\}$ 内にある。このとき、次の問いに答えよ。

1) 円 C の中心 (a, b) の存在する範囲を求め、図示せよ。

2) 1) で求めた範囲の面積 S を求めよ。



1) 1) 10 点 2) 15 点 計 25 点

$$1) \left(\frac{1}{2}\right)^{2\log_2 3} = 2^{-2\log_2 3} = 2^{\log_2 3^{-2}} = 3^{-2} = \frac{1}{9}$$

$$10^{\log_{\frac{1}{10}} 8} = 10^{\frac{\log_{10} 8}{\log_{10} \frac{1}{10}}} = 10^{-\log_{10} 8} = 10^{\log_{10} 8^{-1}} = 8^{-1} = \frac{1}{8}$$

$$4^{-\log_2 \sqrt{3}} = 2^{-2\log_2 \sqrt{3}} = 2^{\log_2 (\sqrt{3})^{-2}} = (\sqrt{3})^{-2} = \frac{1}{3}$$

$$\frac{1}{3} > \frac{1}{8} > \frac{1}{9} \text{ であるから, 大きい順に並べると } 4^{-\log_2 \sqrt{3}}, 10^{\log_{\frac{1}{10}} 8}, \left(\frac{1}{2}\right)^{2\log_2 3}$$

2) 条件から, すべての自然数 n に対して $a_n > 0$ であるから,

$n \geq 2$ のとき $a_n = \sqrt{a_{n-1}}$ の両辺の 3 を底とする対数をとると

$$\log_3 a_n = \log_3 \sqrt{a_{n-1}}$$

$$\text{すなわち } \log_3 a_n = \frac{1}{2} \log_3 a_{n-1}$$

よって, 数列 $\{\log_3 a_n\}$ は, 初項 $\log_3 a_1 = \log_3 3 = 1$, 公比 $\frac{1}{2}$ の等比数列であるから

$$\log_3 a_n = \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} \quad (n=1, 2, \dots)$$

ここで, $b_n = a_1 a_2 a_3 \dots a_n$ とおくと

$$\log_3 b_n = \log_3 a_1 + \log_3 a_2 + \log_3 a_3 + \dots + \log_3 a_n$$

$$= \sum_{k=1}^n \log_3 a_k$$

$$= \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{2}\right)^{k-1}$$

$$\text{よって } \lim_{n \rightarrow \infty} \log_3 b_n = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{2}\right)^{k-1} = \frac{1}{1 - \frac{1}{2}} = 2$$

$$\text{したがって } \lim_{n \rightarrow \infty} b_n = 3^2 = 9 \quad \text{ゆえに } \lim_{n \rightarrow \infty} a_1 a_2 a_3 \dots a_n = 9$$

2) 20 点

$\triangle ABP$ は, 線分 AB を斜辺とする直角三角形であり, $AB=2$ であるから,

$\angle ABP = \theta \left(0 < \theta < \frac{\pi}{2}\right)$ とおくと

$$BP = 2\cos\theta$$

四角形 $PBRQ$ は正方形なので

$$BR = BP = 2\cos\theta$$

$\angle ABR = \theta + \frac{\pi}{2}$ であるから, $\triangle ABR$

において余弦定理を用いると

$$AR^2 = 2^2 + (2\cos\theta)^2 - 2 \cdot 2 \cdot 2\cos\theta \cdot \cos\left(\theta + \frac{\pi}{2}\right)$$

$$= 4\cos^2\theta + 8\sin\theta\cos\theta + 4$$

$$= 4 \cdot \frac{1 + \cos 2\theta}{2} + 8 \cdot \frac{1}{2} \sin 2\theta + 4$$

$$= 4\sin 2\theta + 2\cos 2\theta + 6$$

$$= 2\sqrt{5} \sin(2\theta + \alpha) + 6$$

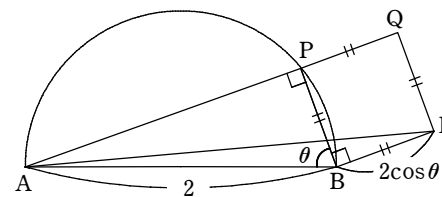
ただし, α は $\sin\alpha = \frac{1}{\sqrt{5}}$, $\cos\alpha = \frac{2}{\sqrt{5}}$ を満たす鋭角である。

$0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ より $\alpha < 2\theta + \alpha < \pi + \alpha$ であり, α は鋭角であるから, AR^2 は

$2\theta + \alpha = \frac{\pi}{2}$ すなわち $\theta = \frac{\pi}{4} - \frac{\alpha}{2}$ で最大値 $2\sqrt{5} + 6$ をとる。

$AR > 0$ であるから, このとき AR も最大となるので, 求める最大値は

$$\sqrt{2\sqrt{5} + 6} = \sqrt{5} + 1$$



3) 15 点

カードの取り出し方は全部で ${}_{10}C_3 = \frac{10 \cdot 9 \cdot 8}{3 \cdot 2 \cdot 1} = 120$ (通り)

2 番目に大きい数が n になるのは, 3 枚のカードが

n のカード

$n+1$ から 10 までの $(10-n)$ 枚のカードの中のいずれか 1 枚

1 から $n-1$ までの $(n-1)$ 枚のカードの中のいずれか 1 枚

になるときであるから, そのようなカードの取り出し方は $(10-n)(n-1)$ 通り

よって, 求める確率は $\frac{(10-n)(n-1)}{120}$

4) 1) 20 点 2) 20 点 計 40 点

1) $A(2, 1), C(a, b)$ とし, 円 C の半径を $r(r > 0)$ とすると, 円 C が点 A を円の内部または周上に含むための条件は $AC \leq r$

よって $AC^2 \leq r^2$ から $(a-2)^2 + (b-1)^2 \leq r^2 \dots\dots \textcircled{1}$

また, 円 C が領域 D 内にあるための条件は

$$a > 0, b > 0, a \geq r, b \geq r$$

が同時に満たされることである。

$a \geq r$ から $r^2 \leq a^2$ であるから, これと $\textcircled{1}$ から

$$(a-2)^2 + (b-1)^2 \leq a^2 \quad \text{よって } a \geq \frac{1}{4}(b-1)^2 + 1 \dots\dots \textcircled{2}$$

$b \geq r$ から $r^2 \leq b^2$ であるから, これと $\textcircled{1}$ から

$$(a-2)^2 + (b-1)^2 \leq b^2 \quad \text{よって } b \geq \frac{1}{2}(a-2)^2 + \frac{1}{2} \dots\dots \textcircled{3}$$

$\frac{1}{4}(b-1)^2 + 1 > 0$ より, $\textcircled{2}$ は $a > 0$ に含まれる。

$\frac{1}{2}(a-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$ より, $\textcircled{3}$ は $b > 0$ に含まれる。

ゆえに, 求める範囲は $\textcircled{2}$ かつ $\textcircled{3}$ で表される領域であるから, 図の斜線部分のようになる。ただし, 境界線を含む。

2) 1) で求めた範囲を xy 平面上で考える。2つの

放物線 $x = \frac{1}{4}(y-1)^2 + 1$ と $y = \frac{1}{2}(x-2)^2 + \frac{1}{2}$

の共有点の座標は $(1, 1), (5, 5)$

であり, この 2 点を通る直線の方程式は $y = x$

である。1) で求めた領域を, 直線 $y = x$ で 2 つに分ける。

放物線 $x = \frac{1}{4}(y-1)^2 + 1$ と, 直線 $y = x$ によって囲まれる図形の面積は

$$\begin{aligned} \int_1^5 \left[y - \left\{ \frac{1}{4}(y-1)^2 + 1 \right\} \right] dy &= \int_1^5 \left[(y-1) - \frac{1}{4}(y-1)^2 \right] dy \\ &= \left[\frac{1}{2}(y-1)^2 - \frac{1}{12}(y-1)^3 \right]_1^5 \\ &= 8 - \frac{16}{3} \\ &= \frac{8}{3} \end{aligned}$$

放物線 $y = \frac{1}{2}(x-2)^2 + \frac{1}{2}$ と, 直線 $y = x$ によって囲まれる図形の面積は

$$\begin{aligned} \int_1^5 \left[x - \left\{ \frac{1}{2}(x-2)^2 + \frac{1}{2} \right\} \right] dx &= \int_1^5 \left(-\frac{1}{2}x^2 + 3x - \frac{5}{2} \right) dx \\ &= \int_1^5 -\frac{1}{2}(x-1)(x-5) dx \\ &= \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{6} (5-1)^3 \\ &= \frac{16}{3} \end{aligned}$$

ゆえに, 求める面積は $S = \frac{8}{3} + \frac{16}{3} = 8$

